

サンゴ礁保全対策支援事業



沖縄県文化環境部自然保護課

【事業目的】

- (1) 生物学的、漁業・観光資源として重要なサンゴ礁を保全するため、地元関係団体の駆除活動と連携しながら、効果的なオニヒトデ対策を実施する。
- (2) 将来のサンゴの回復拠点となる優れたサンゴ礁を優先的に保全するため、慶良間海域最重要保全区域において、継続して保全活動を実施する。
- (3) 新たに大量発生が確認された宮古海域、増加傾向にある八重山海域において、効果的な対策を実施する。
- (4) 陸揚げしたオニヒトデの処理方法を検討し、処理の円滑化を図る。
- (5) 保全区域以外の優れたサンゴ礁についても現状を把握し、行政と地域が連携しながら保全していくための意識の高揚を図る。

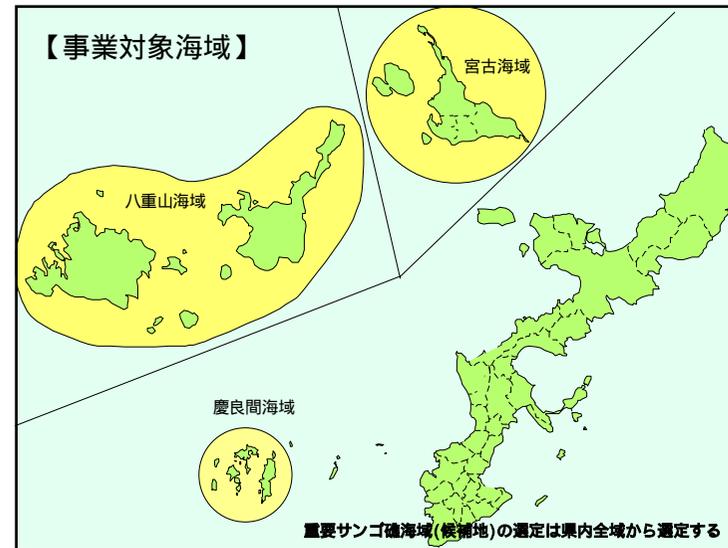
【事業概要】

1. 重要サンゴ礁海域保全事業

- (1) 重要サンゴ礁海域のモニタリングとオニヒトデの駆除
- (2) オニヒトデ処理対策の検討

2. 重要サンゴ礁海域(候補地)の選定

【事業対象海域】



1. 重要サンゴ礁海域保全事業(八重山海域)

(1)造礁サンゴ被度・オニヒトデ分布状況調査(広域調査)
効果的なオニヒトデ対策を検討するため、各海域の造礁サンゴ類の生息状況およびオニヒトデの分布状況について広域的に調査し、基礎的なデータを収集する。

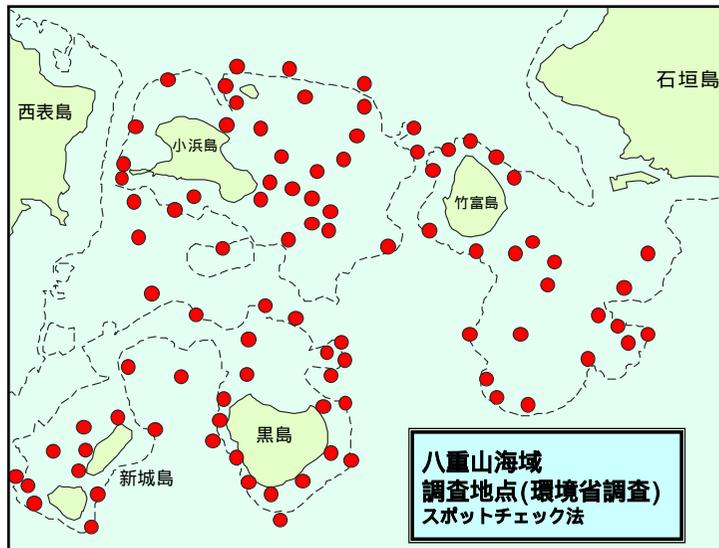
調査方法：「オニヒトデ簡易調査マニュアル」
(15分間のシュノーケリング観察)

調査地点：平成16年度と同地点
八重山海域 251地点()

八重山海域については、環境省の調査結果を活用し、情報が不足している部分を県が補足的に調査する。
(沖縄県調査 計37地点、環境省調査 214地点)

八重山海域 調査地点(環境省、沖縄県調査)

- - スポットチェック法(環境省)
- - オニヒトデ簡易調査マニュアル(県)



八重山海域 調査地点(環境省調査) スポットチェック法

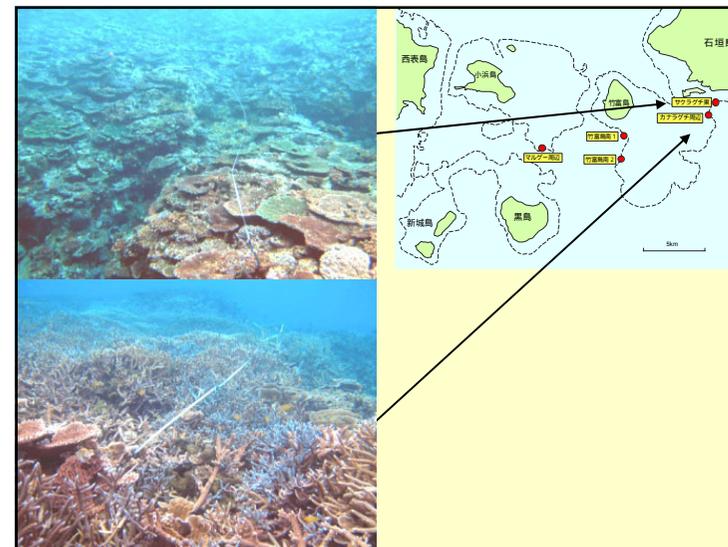
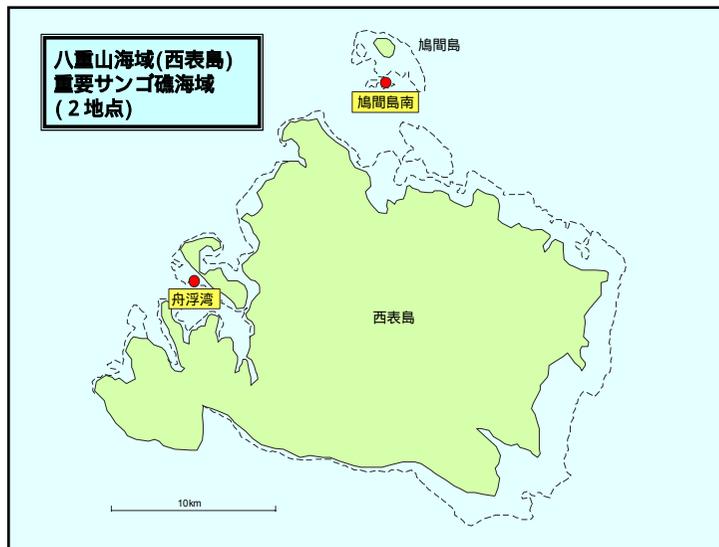
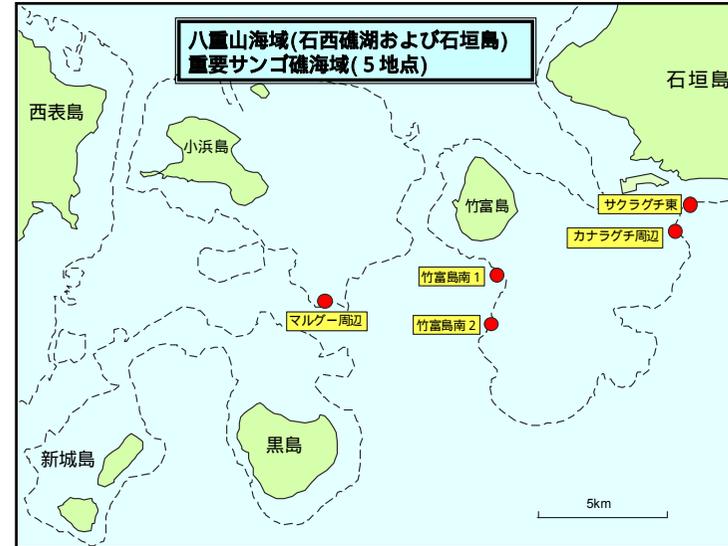


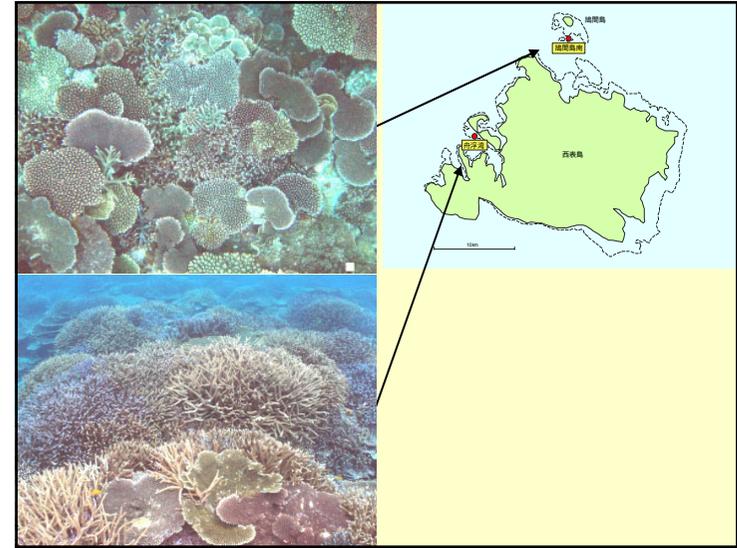
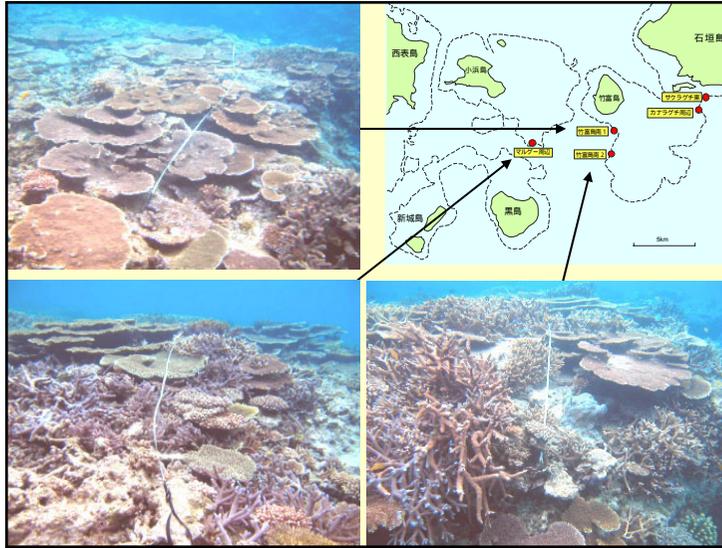
(2)重要サンゴ礁海域におけるサンゴ礁の継続調査

オニヒトデの食害から優先的に保全するため、平成16年度に選定した八重山海域重要サンゴ礁海域において、継続的にモニタリング調査を実施し、今後の保全活動の手法や実施体制等について検討する。

また、オニヒトデの食害状況に合わせて、より保全範囲を絞った最重要保全区域への移行の必要性についても検討する。

項目	調査項目	調査方法
現地調査	造礁サンゴ類被度、 群集組成、健全度 食害の状況等	ビデオライントランセクト法
聞き取り調査	漁業、レジャー業の 利用状況等	聞き取り調査





(3)重要サンゴ礁海域における効果的保全対策の検討

各保全区域での保全活動(オニヒトデ駆除)の前後にモニタリング調査を実施し、保全活動の効果やその保全区域の地形等がオニヒトデ駆除効率にどのような影響を与えるか検討を行い、今後の効果的なサンゴ礁保全対策の確立を図る。

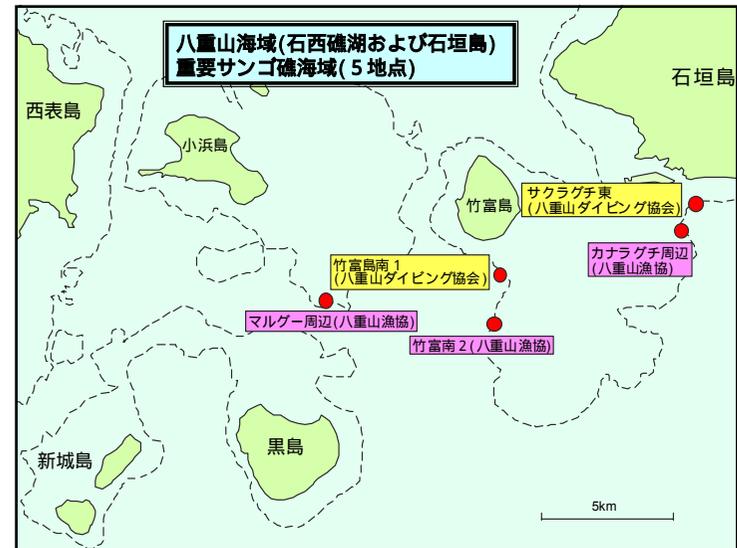
保全活動：各海域の地元関係団体へ委託

- ・実施期間：8月～平成18年2月

モニタリング調査：

- ・実施時期：7月中旬、平成18年3月

フロー図





(4)オニヒトデ処理対策の検討

【目的】

各市町村焼却施設での焼却処理または畑や海浜での埋立処理は困難な状況にある。

ボランティアで行われている駆除活動の障害となる。

処理個体の有効利用を含めて検証し、今後のオニヒトデ処理対策の効率化を図る。

【平成17年度事業】

堆肥化・肥料化の検証(市販資材との比較、成分分析等)

除臭技術の検証(様々な天然素材を加え、除臭方法を検討)

炭化の検証(炭化処理による処理方法の検証)

各オニヒトデ処理方法の検証と併せて、各種法令上の取り扱い等についても整理し、各地域ごとの効率的な処理方法について提言する。

2. 重要サンゴ礁海域(候補地)の選定

沖縄県の海域には、慶良間、宮古、八重山海域で定めた保全区域(計20地点)以外にも、生物学的に価値が高く、地域にとって存在価値が高いサンゴ礁が数多く存在する。

それらについても、現状を記録し、存在価値等について広報することで、オニヒトデやその他の要因から、行政や地域が連携しながら保全していく場所として、保全意識の高揚を図る。

【八重山海域における候補海域】

既存の報告書等からリストアップした13候補海域(網取湾、鹿川湾、白保等)について、現地調査を行い、絞り込みを行っている。

【結果の広報】

パンフレットの配布、ホームページに掲載等